

平成23年度実績評価書
(要旨)

平成 2 4 年 7 月
国家公安委員会・警察庁

凡 例

評価結果の基準について

達成（記号： ）

指標を全て達成していると認められるもの

おおむね達成（記号： ）

指標を全て達成しているとは認められないが、総合的に見て達成の度合いが半分を超えていると認められるもの

達成が十分とは言い難い（記号： ）

指標を全て達成しているとは認められないもの

政策体系(国家公安委員会・警察庁)

基本目標	業績目標	ページ
1 市民生活の安全と平穏の確保	1 犯罪予防対策の推進による安全・安心なまちづくり	1
	2 地域警察官による街頭活動及び初動警察活動の強化	2
	3 少年非行の防止	3
	4 犯罪等からの少年の保護	4
	5 良好な生活環境の保持	5
	6 経済犯罪等の取締りの推進による良好な経済活動等の確保	6
	7 環境事犯の取締りの推進による環境破壊等の防止	7
2 犯罪捜査の的確な推進	1 重要犯罪に係る捜査の強化	8
	2 重要窃盗犯に係る捜査の強化	9
	3 政治・行政・経済の構造的不正の追及の強化	10
	4 振り込め詐欺の捜査活動及び予防活動の強化	11
	5 科学技術を活用した捜査の更なる推進	12
	6 被疑者取調べの適正化の更なる推進	13
3 組織犯罪対策の強化	1 暴力団の存立基盤の弱体化	14
	2 取締りの強化による薬物密輸・密売組織の弱体化	15
	3 銃器犯罪の取締りの強化による暴力団等犯罪組織の弱体化	16
	4 来日外国人犯罪対策の強化	17
	5 犯罪収益対策の推進	18
4 安全かつ快適な交通の確保	1 歩行者・自転車利用者の安全確保	19
	2 高齢運転者による交通事故の防止	20
	3 飲酒運転対策を始めとする悪質・危険運転者対策の推進による交通秩序の確立	21
	4 被害軽減対策の推進による交通事故死者数の減少	22
	5 道路交通環境の整備	23
5 国の公安の維持	1 重大テロ事案等の予防鎮圧	24
	2 大規模自然災害等の重大事案への的確な対処	25
	3 警備犯罪取締りの的確な実施	26
	4 国内外における情報収集・分析機能の強化による対日有害活動・国際テロ等の未然防止及びこれらの事案への的確な対処	27
6 犯罪被害者等の支援の充実	1 犯罪被害者等に対する経済的支援・精神的支援等総合的な支援の充実	28
7 安心できるIT社会の実現	1 情報セキュリティの確保とネットワーク利用犯罪等サイバー犯罪の抑止	29

基本目標 1 市民生活の安全と平穩の確保

業績目標 1 犯罪予防対策の推進による安全・安心なまちづくり

業績目標達成のために行った主な施策

- 街頭防犯カメラの整備の促進
- 防犯ボランティア支援事業の推進
- 子ども女性安全対策班による先制・予防的警察活動等の推進



(青色回転灯装備車両による防犯パトロール活動)

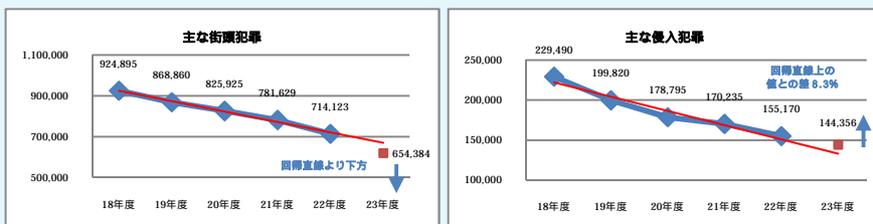
評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：街頭犯罪・侵入犯罪の認知件数

達成目標：減少傾向を維持する。

達成状況：



業績指標 については、23年度の主な街頭犯罪の認知件数は、18～22年度の数値に係る回帰直線(分布している数値の傾向を示す直線。上のグラフの赤線)上の値(670,451件)を下回り、また、主な侵入犯罪の認知件数は、18～22年度の数値に係る回帰直線上の値(133,232件)との差が8.3パーセントと同等の水準を維持していることから、目標を達成した。

業績指標：子どもと女性を性犯罪等の被害から守るための取組の推進状況

達成状況：

達成目標：強姦、強制わいせつ等の認知件数の減少及び声かけ等前兆事案への対処



【事例】駅のベンチに座っていた女子中学生が男に追いかられる事案が発生したことから、子ども女性安全対策班において所要の捜査を実施した結果、行為者を特定し、指導・警告した(石川)

業績指標 については、前年度と比べ、強制わいせつ及び略取誘拐の認知件数が増加しているものの、過去5年間の平均と比べ、強姦、強制わいせつ及び略取誘拐の認知件数が減少しており、また、声掛け等前兆事案への的確な対処がなされていることから、目標をおおむね達成した。

政策への反映の方向性

引き続き推進

地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止対策の推進
子どもと女性を性犯罪等の被害から守るための取組 等

業績目標 2 地域警察官による街頭活動の強化及び初動警察活動の強化

業績目標達成のために行った主な施策

- 管内実態に即したパトロール
- 職務質問技能の伝承
- 交番相談員の増配置
- 人材育成、体制強化等による通信指令の強化



(通信指令室)

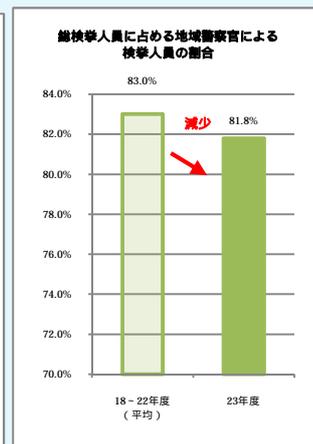
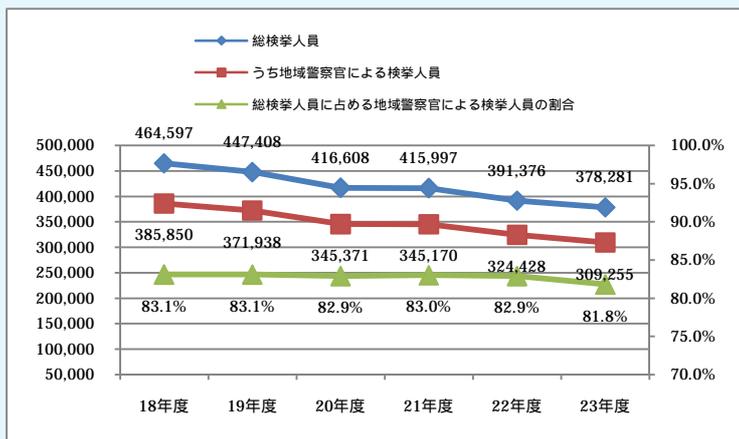
評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：刑法犯及び特別法犯の総検挙人員に占める
地域警察官による検挙人員の割合

達成状況：

達成目標：過去5年間並の水準を維持する。



業績指標 については、過去5年間の平均と比べ、刑法犯及び特別法犯の総検挙人員に占める地域警察官による検挙人員の割合が1.2ポイントの減少にとどまったことから、目標をおおむね達成した。

業績指標：通信指令を担う人材育成の推進状況(事例)

達成状況：

達成目標：通信指令に係る人材育成関係施策を推進する。

- 23年度中、新たに3県で技能伝承制度の規定を整備し、全都道府県警察で規定整備が終了
- 23年度中、10都県において通信指令関係の研修(他県職員の受入れ)が行われ、21都道府県の通信指令担当者60名が受講
- 前年度に引き続き、23年度も全都道府県警察で重点専科「通信指令」を実施し、約1,000人が受講

政策への反映の方向性

引き続き推進

パトロールによる犯罪の抑止及び検挙 等

業績目標 3 少年非行の防止

業績目標達成のために行った主な施策

- 刑法犯少年の検挙活動の推進
- 少年警察ボランティア等と連携した不良行為少年の補導活動の推進
- 関係機関等との連携による非行少年の立ち直り支援に係る施策の推進
- 非行防止教室等の開催の推進



(立ち直り支援活動)

評価結果の概要等

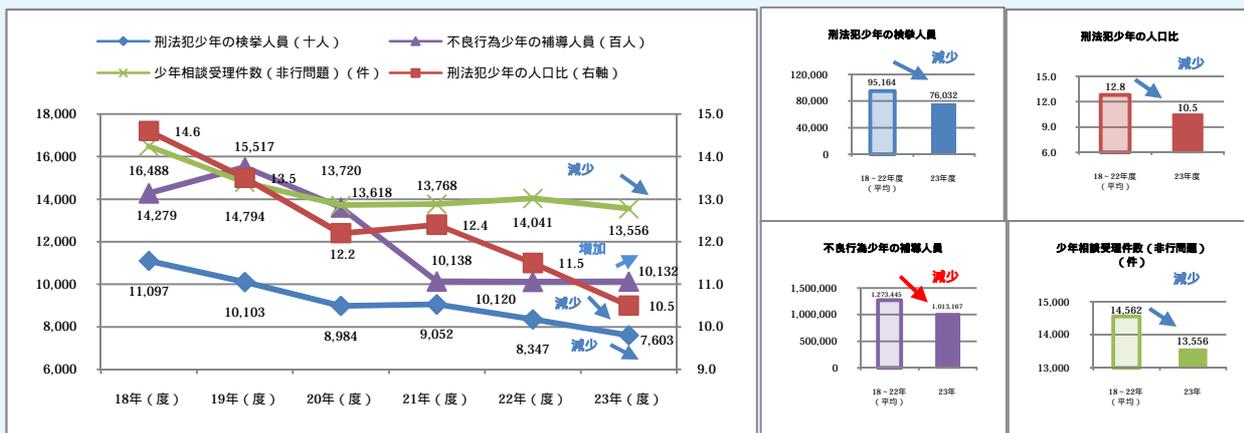
評価結果：

業績指標：少年非行防止のための取組の推進状況

(刑法犯少年の検挙人員、刑法犯少年の人口比、不良行為少年の補導人員、少年相談受案件数(非行問題に関するもの))

達成目標：刑法犯少年の検挙活動及び不良行為少年の補導活動を推進する。

達成状況：



業績指標 については、過去5年間の平均と比べ、非行に至る前段階にある不良行為少年の補導人員が減少しているものの、過去5年間の平均及び前年(度)と比べ、刑法犯少年の検挙人員、刑法犯少年の人口比及び非行問題に関する少年相談受案件数が減少していることから、少年非行は一定程度抑止されていると評価でき、目標をおおむね達成した。

業績指標：非行少年の立ち直り支援の状況

(関係機関と連携した非行少年の立ち直り支援事例等)

達成目標：非行少年の立ち直り支援を推進する。

達成状況：

【事例】少年サポートセンターは、継続補導中の少年4人に対し、中学校教諭等と協働して、料理教室や環境美化活動、スポーツ交流活動等の立ち直り支援活動を実施した。その結果、少年らの学校における問題行動が改善された(大阪)。



政策への反映の方向性

引き続き推進

- 少年事件捜査に係る研修等による少年犯罪の的確な取締り
- 非行防止教室等による少年の規範意識の向上
- 関係機関・団体・ボランティア等との連携による立ち直り支援 等

業績目標 4 犯罪等からの少年の保護

業績目標達成のために行った主な施策

- 福祉犯等の検挙活動の推進
- ファイル共有ソフト利用事犯等の取締りの強化等「児童ポルノ排除総合対策」に基づく児童ポルノ対策の推進
- フィルタリングの普及に向けた事業者への指導・要請、保護者への啓発活動等有害環境の浄化活動の推進
- 児童虐待等による被害を受けた少年に対する支援の推進



(少年相談)

評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：福祉犯の取締りの推進状況

(福祉犯の検挙件数及び検挙人員並びに被害者数)

達成目標：福祉犯の検挙活動及び被害少年の保護活動を推進する。

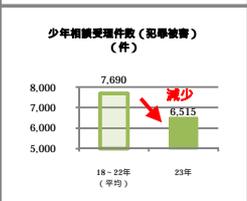
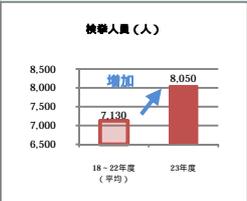
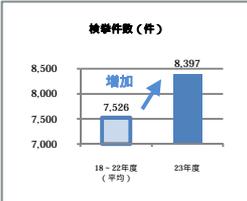
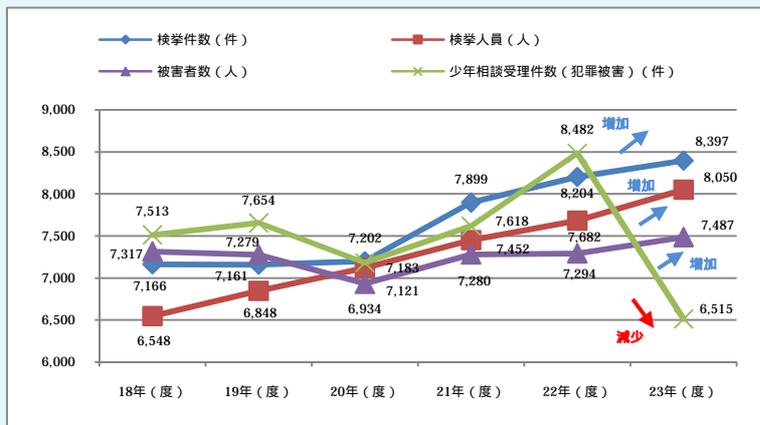
達成状況：

業績指標：被害少年の支援等の状況

(犯罪被害に関する少年相談受理件数及び少年補導職員等による被害少年の支援事例)

達成目標：受理した少年相談に係る対応及び被害少年に対する支援を推進する。

達成状況：



業績指標 については、過去5年間の平均及び前年度と比べ、福祉犯の検挙件数及び検挙人員並びに保護した被害少年の数が増加しており、福祉犯の検挙活動及び被害少年の保護が推進されたものと評価できることから、目標を達成した。業績指標 については、過去5年間の平均及び前年と比べ、犯罪被害に関する少年相談受理件数が減少しているものの、福祉犯被害少年等に対する支援や保護者に対する助言指導等、支援の充実を図っていることから、目標をおおむね達成した。

【事例】暴力団関係者が経営する売春組織において、売春嬢として稼働させられていた福祉犯被害少年5名に対し、警察署生活安全課の少年係が面接を行い、暴力団の悪質性や生活環境改善の必要性等を心に訴えかけるように助言・指導した。その結果、少年らは暴力団との決別を決意し、就職活動や学業に専念する決心をして、再出発を誓った。また、保護者に対しても、子どもとの会話の機会を確保することや少年の言動に関心を持つことについて助言・指導したところ、監護意欲を示した。

政策への反映の方向性

引き続き推進

- 福祉犯捜査に係る研修等による福祉犯の取締りの強化
- フィルタリングの普及促進及び適切な利用のための啓発活動
- 少年相談の利用の促進のための広報啓発 等

業績目標 5 良好な生活環境の保持

業績目標達成のために行った主な施策

繁華街・歓楽街を再生するための総合対策の推進
 「匿名通報ダイヤル」を活用した被害者の保護及び捜査の推進
 猟銃等の所有者に対する指導の強化



(「匿名通報ダイヤル」のポスター)

評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：風俗関係事犯の検挙件数及び検挙人員

達成目標：過去5年間の平均より増加させる。

達成状況：

業績指標：風俗営業等に対する行政処分件数

達成目標：過去5年間の平均より増加させる。

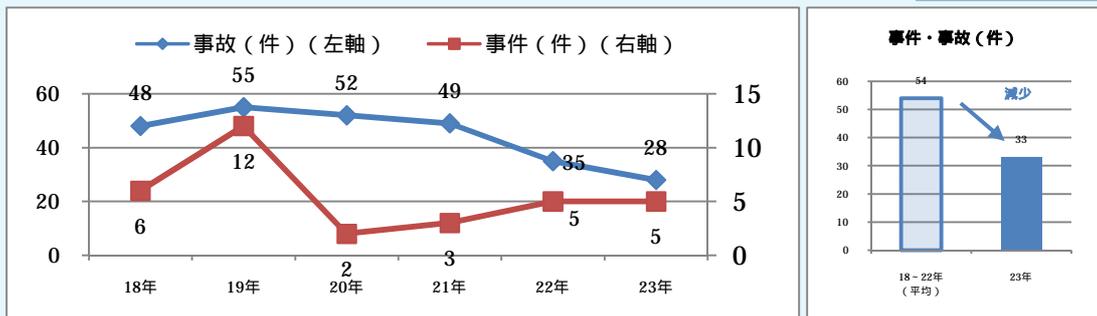
達成状況：



業績指標：猟銃等による事件・事故の発生件数

達成目標：過去5年間の平均より減少させる。

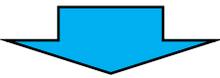
達成状況：



政策への反映の方向性

引き続き推進

上記評価結果を踏まえ、特に右の風俗関係事犯対策を推進



風俗関連事犯の検挙件数及び検挙人員並びに風俗営業等に対する行政処分件数の減少については、繁華街・歓楽街対策や改正風営適正化法施行等、風俗関係事犯の取締りが強化されたことにより、違法営業の潜在化や巧妙化が強まっていることが原因と考えられる。

風俗関係事犯の効果的な取締り及び風俗営業の適正化の推進
 繁華街・歓楽街を中心に、いまだ営業する違法性風俗店等が根絶されていないことから、こうした性風俗店等に対し、関係部門間の連携を強化した取締りを行うなど、風俗関係事犯の効果的な取締りを行うとともに、風俗営業者の自主的な健全化のための施策を支援し、業務の適正化を推進する。
 猟銃等の所有者に対する適正な取扱い等に関する指導の徹底 等

業績目標 6 経済犯罪等の取締りの推進による良好な経済活動等の確保

業績目標達成のために行った主な施策

高齢者を狙った特定商取引等事犯、暴力団が関与する
ヤミ金融事犯等の優先的取締り
犯罪利用口座凍結のための金融機関への情報提供



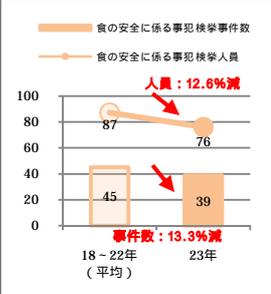
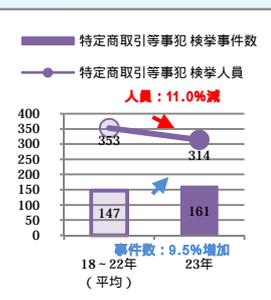
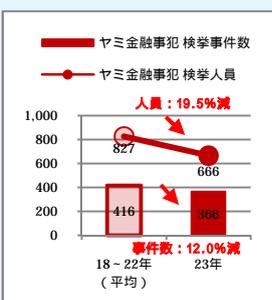
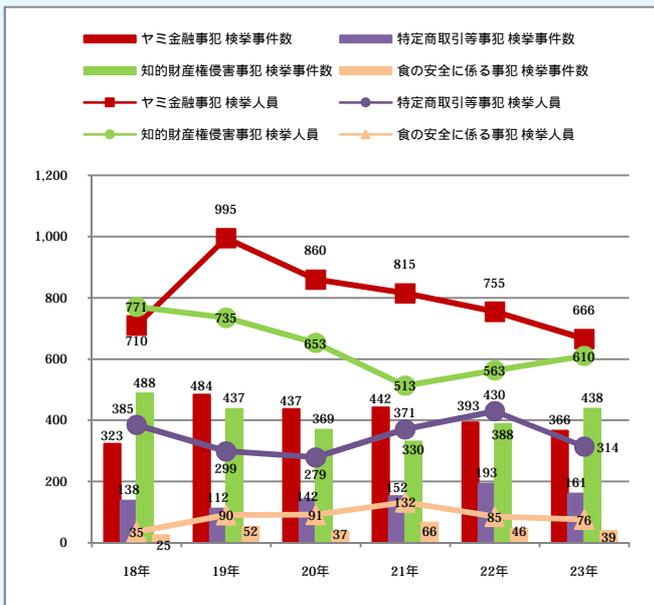
(悪質業者が施工した不要な床下補強工事)

評価結果の概要等

評価結果：

- 業績指標：ヤミ金融事犯の検挙事件数及び検挙人員
達成目標：過去5年間並の水準を維持する。
- 業績指標：特定商取引等事犯の検挙事件数及び検挙人員
達成目標：過去5年間の平均より増加させる。
- 業績指標：知的財産権侵害事犯の検挙事件数及び検挙人員
達成目標：過去5年間並の水準を維持する。
- 業績指標：食の安全に係る事犯の検挙事件数及び検挙人員
達成目標：過去5年間並の水準を維持する。

- 達成状況：
- 達成状況：
- 達成状況：
- 達成状況：



業績指標 については、過去5年間の平均と比べ、検挙事件数の減少率が12.0パーセントにとどまったものの、検挙人員の減少率が19.5パーセントであったことから、目標の達成が十分とはいえない。業績指標 については、過去5年間の平均と比べ、検挙人員は減少したものの、検挙事件数は増加したことから、目標をおおむね達成した。業績指標 については、過去5年間の平均と比べ、検挙事件数は9.0パーセント増加し、検挙人員の減少率は5.7パーセントにとどまったことから、目標を達成した。業績指標 については、過去5年間の平均と比べ、検挙事件数及び検挙人員の減少率がそれぞれ13.3パーセント、12.6パーセントにとどまったことから、目標をおおむね達成した。

業績指標：経済犯罪等に係る犯罪利用預金口座等の凍結のための金融機関への情報提供件数
達成目標：前年より増加させる。

達成状況：

- 23年の情報提供件数は24,511件（前年比9,685件増）

政策への反映の方向性

引き続き推進

悪質な事犯に重点を置いた取締り
犯罪利用口座凍結のための金融機関への情報提供 等

業績目標 7 環境事犯の取締りによる環境破壊等の防止

業績目標達成のために行った主な施策

悪質な環境事犯の取締り
関係機関との連携強化



(廃棄物事犯の現場)

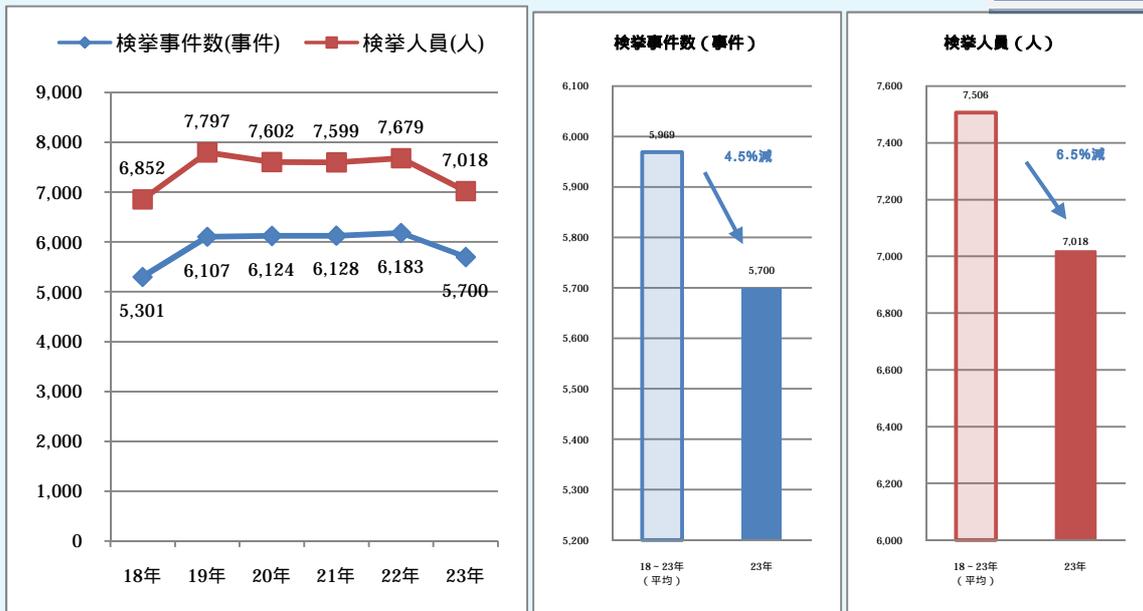
評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：廃棄物事犯の検挙事件数及び検挙人員

達成目標：過去5年間並の水準を維持する。

達成状況：



業績指標 については、過去5年間の平均と比べ、廃棄物事犯の検挙事件数及び検挙人員の減少率がそれぞれ4.5パーセント、6.5パーセントと、いずれも10パーセント以内にとどまったことから、目標を達成した。



政策への反映の方向性

引き続き推進

悪質な環境事犯の取締り
関係機関との連携 等

基本目標 2 犯罪捜査の的確な推進

業績目標 1 重要犯罪に係る捜査の強化

業績目標達成のために行った主な施策

- 情報分析支援システム（CIS-CATS）の活用
- 捜査特別報奨金制度の活用
- DNA型データベースの活用
- 検視官の増強等、検視体制の強化



（DNA型鑑定の状況）

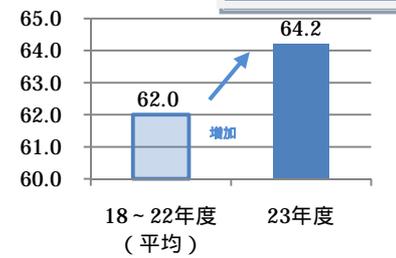
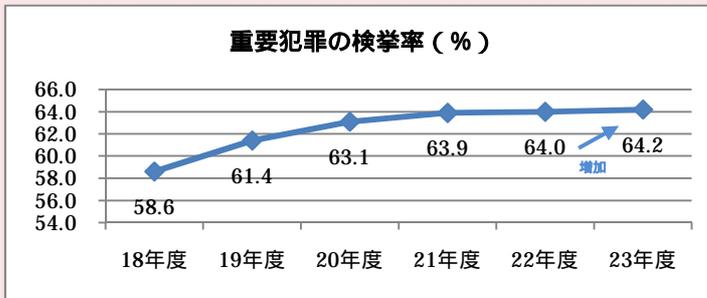
評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：各重要犯罪の検挙率

達成目標：殺人、強盗、強姦等の各種重要犯罪の検挙率を向上させる。

達成状況：

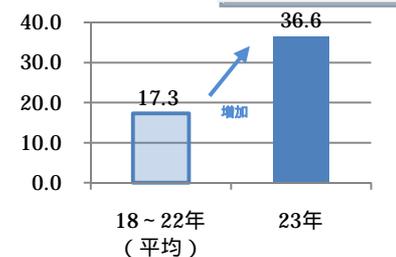


業績指標 については、過去5年間の平均及び前年度と比べ、重要犯罪の検挙率が増加していることから、目標を達成した。

業績指標：検視官の臨場率

達成目標：検視官の死体取扱現場への臨場率を向上させる。

達成状況：



業績指標 については、過去5年間の平均及び前年と比べ、検視官の臨場率が増加していることから、目標を達成した。

政策への反映の方向性

引き続き推進

- 情報分析支援システムの効果的活用
- DNA型鑑定及びデータベースの積極的活用
- 自動車ナンバー自動読取システムの整備
- 検視官の増員等、検視体制の強化
- 合同捜査及び共同捜査の推進 等

基本目標 2 犯罪捜査の的確な推進

業績目標 2 重要窃盗犯に係る捜査の強化

業績目標達成のために行った主な施策

情報分析支援システム（C I S - C A T S）の活用
DNA型データベースの活用
自動車ナンバー自動読取システムの整備
合同捜査及び共同捜査の推進



（コンテナに隠匿された盗難車両）

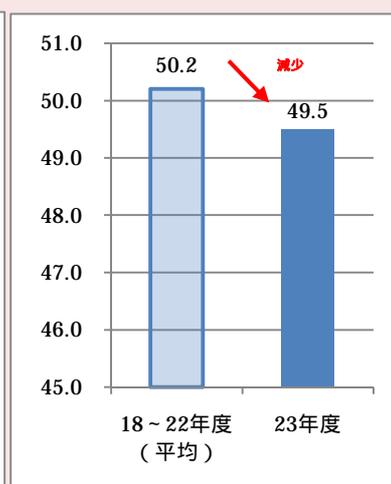
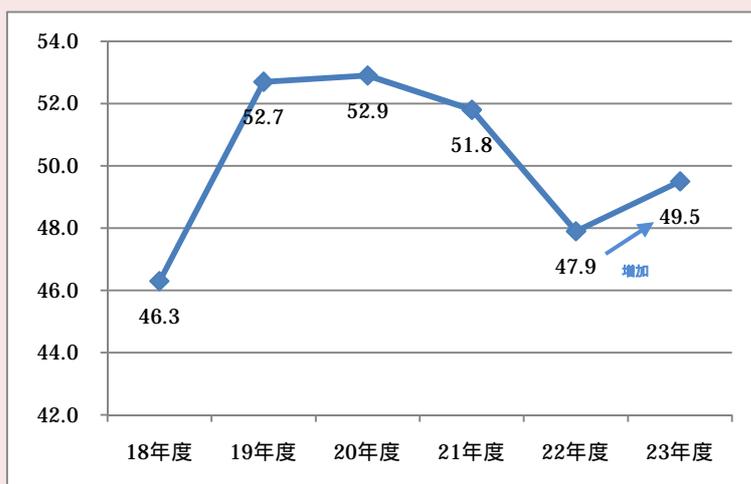
評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：各重要窃盗犯の検挙率

達成目標：侵入窃盗、自動車盗等の各重要窃盗犯の検挙率を向上させる。

達成状況：



業績指標 については、重要窃盗犯の検挙率が、過去5年間の平均と比べ減少しているものの、前年度と比べ増加していることから、目標をおおむね達成した。

政策への反映の方向性

引き続き推進

情報分析支援システムの効果的活用
DNA型鑑定及びデータベースの積極的活用
自動車ナンバー自動読取システムの整備
合同捜査及び共同捜査の推進 等

業績目標 3 政治・行政・経済の構造的不正の追及の強化

業績目標達成のために行った主な施策

捜査の現状、問題点、捜査指揮についての研修の実施
 財務捜査の活用、指揮能力の向上等を目的とした研修の実施



(統一地方選挙違反取締本部の設置)

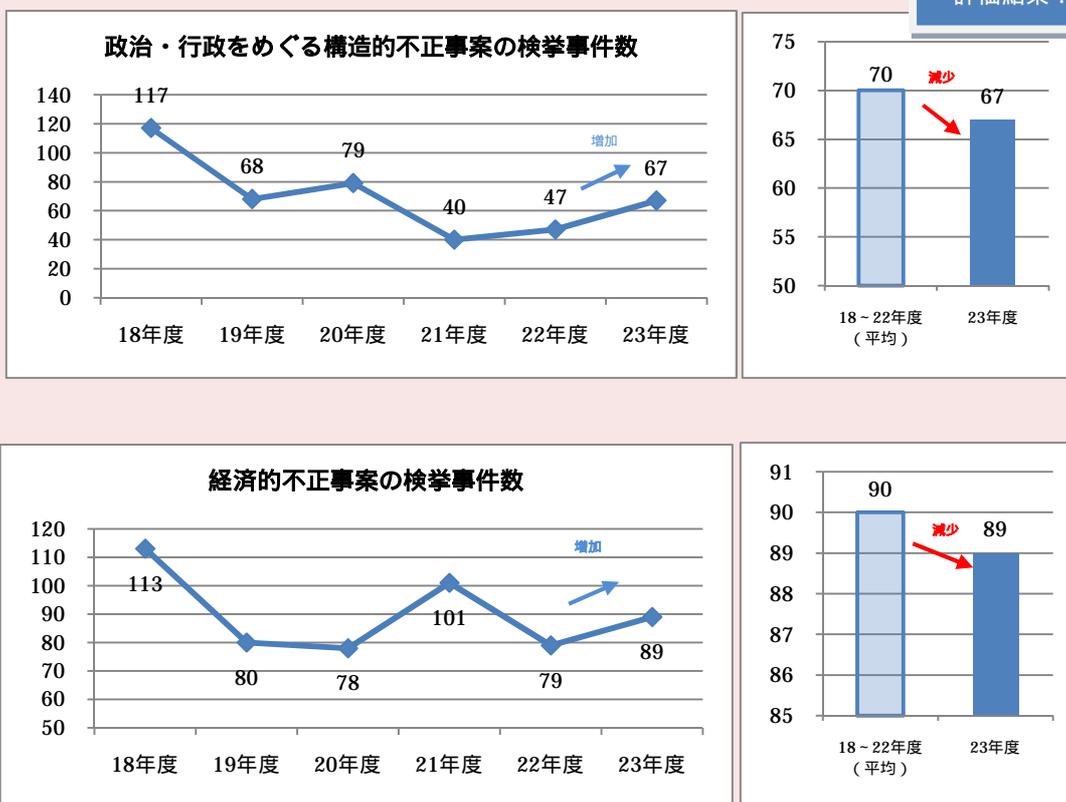
評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：政治・行政・経済の構造的不正に係る犯罪の検挙状況

達成目標：政治・行政・経済の構造的不正に係る犯罪の検挙を推進する。

評価結果：



業績指標 については、政治・行政をめぐる構造的不正事案及び経済的不正事案の検挙事件数が、過去5年間の平均と比べ減少しているものの、前年度と比べ増加していることから、目標をおおむね達成した。

政策への反映の方向性

引き続き推進

各種情報の収集・分析の向上
 捜査体制の見直し、整備
 捜査員の育成・確保 等

業績目標 4 振り込め詐欺の捜査活動及び予防活動の強化

業績目標達成のために行った主な施策

- 都道府県警察間の合・共同捜査の推進
- 「振り込め詐欺首都圏派遣捜査専従班」の活用
- 広報啓発活動の推進
- 犯罪収益移転防止法及び携帯電話不正利用防止法の活用の推進



(振り込め詐欺防止ポスター)

評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：振り込め詐欺の発生状況（認知件数及び被害総額）

達成目標：前年度よりも減少させる。

評価結果：

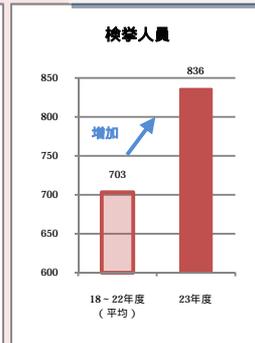
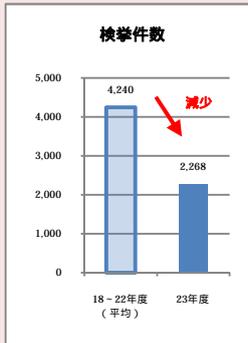
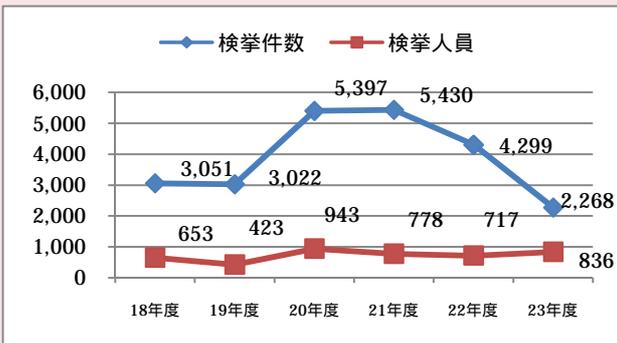


業績指標 については、前年度と比べ、認知件数は減少したものの、被害総額が増加したことから、目標の達成が十分とは言えない。

業績指標：振り込め詐欺の検挙状況（検挙件数及び検挙人員）

達成目標：過去5年間の平均よりも増加させる。

評価結果：



業績指標 については、過去5年間の平均と比べ、検挙人員は増加したものの、検挙件数が減少したことから、目標の達成が十分とは言えない。

振り込め詐欺の被害総額の増加の原因は、1件当たりの平均被害額が約400万円と高額な「現金受取型」のオレオレ詐欺が増加（前年比+678件）したことが大きく影響している。振り込め詐欺の検挙件数の減少の原因は、余罪件数の多い架空請求詐欺、融資保証金詐欺及び還付金等詐欺の認知件数が、近年、大幅に減少していることに加え、警察の取締重点を、被害額が高額な「現金受取型」のオレオレ詐欺に指向していることも影響している。

政策への反映の方向性

引き続き推進

上記評価結果を踏まえ、特に右の対策を推進

- 被害の抑止に資する取締活動の徹底**
「現金受取型」のオレオレ詐欺の増加を踏まえ、「たまされた振り作戦」による現場検挙、突き上げ捜査による上位被疑者の検挙、犯行拠点の摘発等、現に犯行を繰り返す犯行グループの摘発に向けた取締活動を徹底する。
- 官民一体となった被害予防対策の推進**
「家族の絆」の醸成による被害防止対策、「留守番電話作戦」、コールセンターや防犯ボランティア団体等を活用した注意喚起、金融機関等における声掛け等、官民一体となった被害予防対策を推進する。

業績目標 5 科学技術を活用した捜査の更なる推進

業績目標達成のために行った主な施策

- DNA型鑑定及びデータベースの積極的活用の推進
- DNA型自動分析装置等の整備
- 情報技術解析用資機材の増強等、情報技術解析に係る取組の強化



(鑑識の状況)

評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：DNA型鑑定の活用状況（DNA型鑑定事件数）

達成目標：過去5年間の増加傾向を維持する。

達成状況：

業績指標：DNA型データベースの活用状況

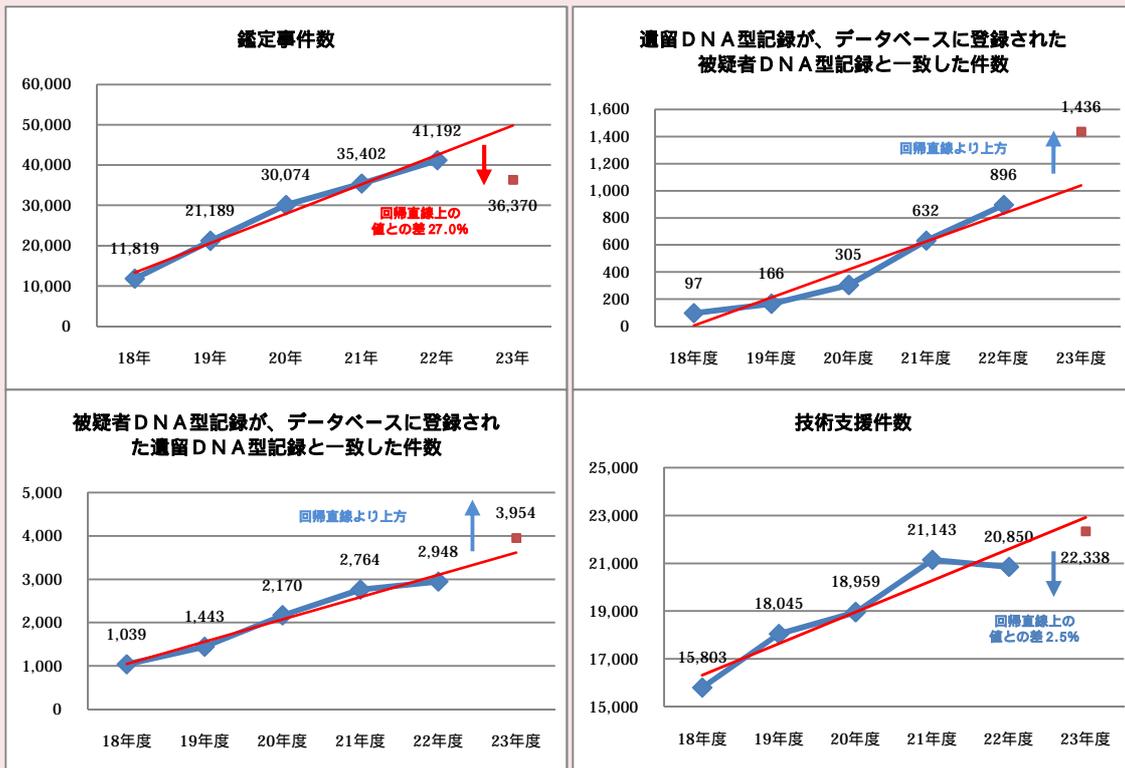
達成目標：過去5年間の増加傾向を維持する。

達成状況：

業績指標：技術支援件数

達成目標：過去5年間の増加傾向を維持する。

達成状況：



業績指標 については、23年の鑑定事件数は、18～22年の数値に係る回帰直線（分布している数値の傾向を示す直線。上のグラフの赤線）上の値（49,823件）との差が27.0パーセントであることから、目標の達成が十分とは言えない。業績指標 については、いずれの値も回帰直線上の値（1,038件、3,615件）を上回っていることから、目標を達成した。業績指標 については、23年度の技術支援件数は、回帰直線上の値（22,917件）との差が2.5パーセントと同等の水準を維持していることから、目標を達成とした。

政策への反映の方向性

引き続き推進

DNA型鑑定等科学技術を積極的に取り入れた捜査の推進
人的・物的基盤の充実 等

業績目標 6 被疑者取調べの適正化の更なる推進

業績目標達成のために行った主な施策

被疑者取調べ監督に係る実地点検及び指導の強化
 取調べ室の机の固定化及び遮蔽板の遮蔽板の整備
 研修（取調べ専科等）の実施



（取調べ室の外部からの視認状況）

評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：被疑者取調べ適正化のための監督に関する規則に定める監督対象行為の確認件数

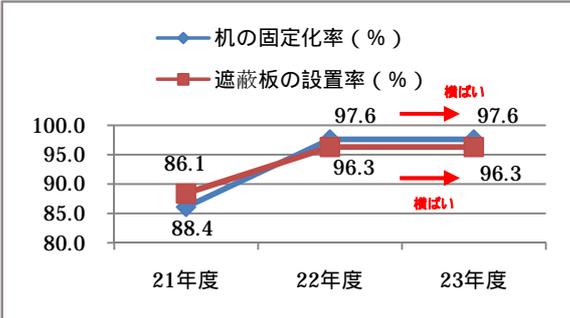
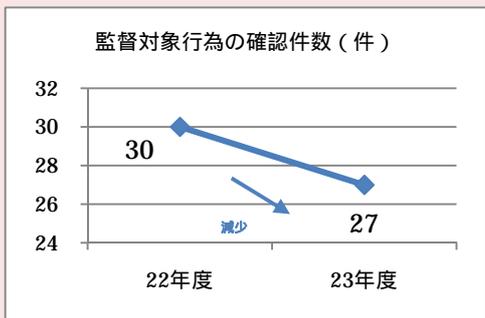
達成状況：

達成目標：監督対象行為の確認件数を減少させる。

業績指標：取調べの適正を担保するための取調べ室の机の固定化及び遮蔽板の整備状況

達成状況：

達成目標：事務機の固定化及び遮蔽板の整備率を 100% にする。



業績目標：捜査に携わる者に対する適正捜査に関する研修の実施状況

達成状況：

達成目標：全都道府県警察において取調べ技能専科を実施するなど、
 捜査に携わる者に対する適正捜査に関する研修を推進する。

23年度は、全ての都道府県警察において、警部補以下の警察官に対し、取調べの適正化を確保するための制度、供述の任意性・信用性を担保するための具体的手法を習得させるための研修を実施



政策への反映の方向性

引き続き推進

捜査部門による取調べの適正化に関する巡回業務指導や研修の実施
 取調べ監督部門による警察組織内部におけるチェック 等

業績目標 1 暴力団の存立基盤の弱体化

業績目標達成のために行った主な施策

暴力団犯罪の取締りの強化
 暴力団に対する組織的犯罪処罰法の積極的適用
 各種暴力団排除活動の推進



(暴力追放運動)

評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：暴力団構成員等の検挙人員

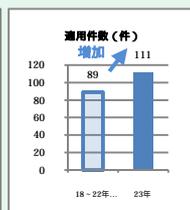
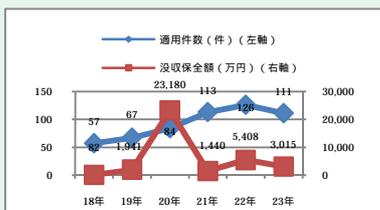
達成目標：前年より増加させる。

達成状況：

業績指標：暴力団構成員等に対する組織的犯罪処罰法の適用件数及び起訴前の没収保全命令による没収保全額

達成目標：過去5年間の平均より増加させる。

達成状況：



業績指標 については、過去5年間の平均と比べ、起訴前の没収保全命令による没収保全額が減少しているものの、組織的犯罪処罰法の適用件数が増加していることから、目標をおおむね達成した。

業績指標：地方自治体が行う公共事業等の入札参加資格基準等における暴力団排除条項の整備率

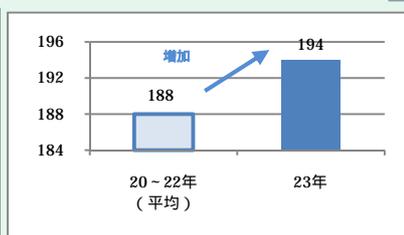
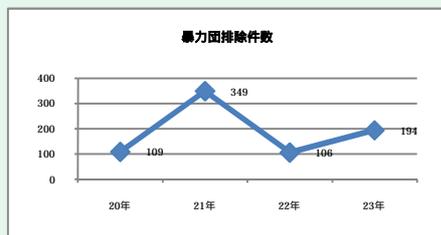
達成目標：整備率 50% 23年の整備率は24.6% (前年比11.8ポイント増加)

達成状況：

業績指標：公共工事における暴力団排除件数

達成目標：過去3年間の平均より増加させる。

達成状況：



政策への反映の方向性

引き続き推進

山口組・弘道会を支える中枢幹部等に対する取締りの徹底
 事業者等に対する凶悪事件及び対立抗争事件の早期検挙及び抑止
 保護対策の強化と暴力団情報の積極的かつ適切な提供
 情報の収集・集約及び分析の推進 等

業績目標 2 取締りの強化による薬物密輸・密売組織の弱体化

業績目標達成のために行った主な施策

- 薬物密輸・密売組織の壊滅に向けた取締りの強化
- 末端乱用者に対する取締りの強化
- 国内外の関係機関との情報交換等による水際対策の強化



(薬物乱用防止キャンペーン)

評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：薬物事犯の検挙人員

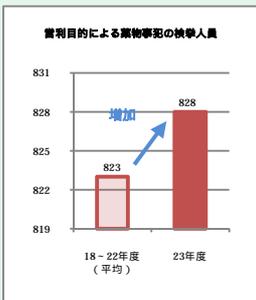
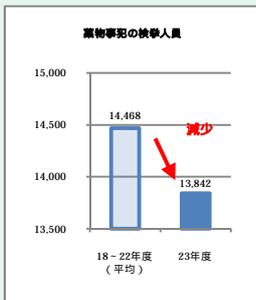
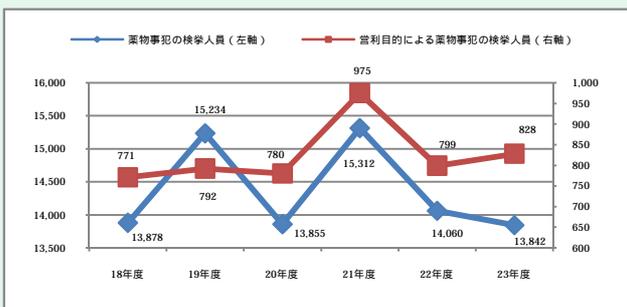
達成目標：過去5年間の平均より増加させる。

達成状況：

業績指標：営利目的による薬物事犯の検挙人員

達成目標：過去5年間の平均より増加させる。

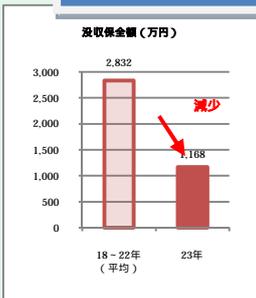
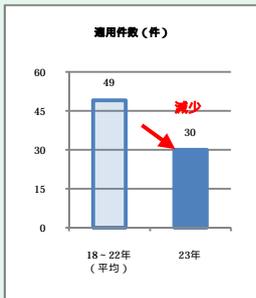
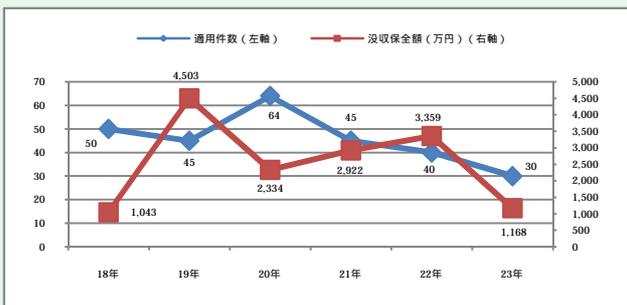
達成状況：



業績指標：麻薬特例法の適用件数及び起訴前の没収保全命令による没収保全額

達成目標：過去5年間の平均より増加させる。

達成状況：



薬物事犯の検挙人員の減少等の背景には、密輸・密売組織が首領の下で役割を細分化するとともに、組織防衛を徹底していることや、犯罪組織による薬物犯罪収益の隠匿手口が巧妙化していること等があると考えられる。

政策の反映の方向性

引き続き推進

上記評価結果を踏まえ、特に右の対策を推進

末端乱用者の徹底検挙から突き上げ捜査の推進
 末端乱用者の検挙を徹底するとともに、突き上げ捜査を徹底して薬物の入手先を解明するなどして、薬物密輸・密売組織の壊滅及び実態解明を図る。

薬物犯罪収益の解明による没収額の増加
 組織の資金の流れに着目した捜査を推進し、麻薬特例法の適用による薬物犯罪収益等の剥奪を徹底する。

業績目標 3 銃器犯罪の取締りの強化による暴力団等犯罪組織の弱体化

業績目標達成のために行った主な施策

犯罪組織の壊滅に向けた銃器摘発の強化
 拳銃 110 番報奨制度の実施
 銃器摘発用装備資機材の整備



(拳銃 110 番報奨制度ポスター)

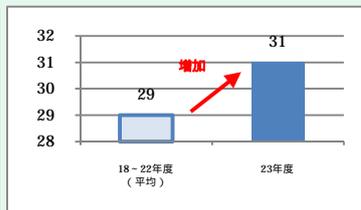
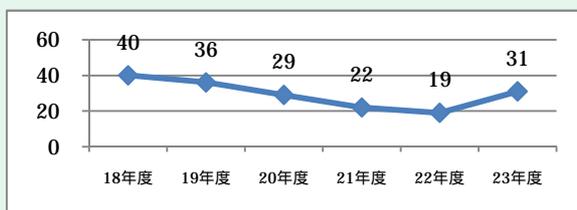
評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：暴力団等によるとみられる銃器発砲事件の発生件数

達成目標：過去 5 年間の平均より減少させる。

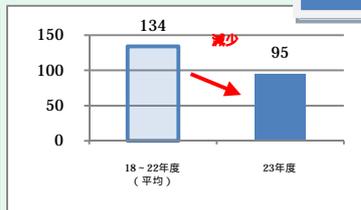
達成状況：



業績指標：暴力団構成員等による拳銃及び拳銃部品に係る銃刀法違反事件の検挙人員

達成目標：過去 5 年間の平均より増加させる。

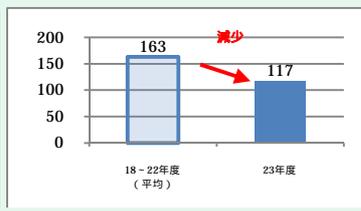
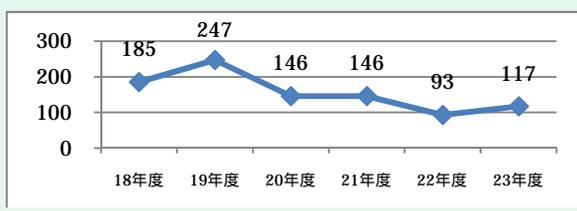
達成状況：



業績指標：暴力団構成員等からの拳銃の押収丁数

達成目標：過去 5 年間の平均より増加させる。

達成状況：



政策への反映の方向性



暴力団構成員等による拳銃及び拳銃部品に係る銃刀法違反事件の検挙人員並びに押収丁数の減少傾向については、暴力団等の組織防衛の強化により、拳銃に係る情報入手することが難しくなるとともに、拳銃の隠匿手口が巧妙化、隠匿場所が分散化していることが原因と考えられる。

引き続き推進

上記評価結果を踏まえ、特に右の対策を推進

暴力団等犯罪組織による銃器犯罪に対する取締りの強化

拳銃に係る情報収集の強化、拳銃の効果的な捜索の実施等のため、拳銃 110 番報奨制度の更なる活用、装備資機材の充実等を図るとともに、暴力団等犯罪組織の首領や幹部に焦点を当て、突き上げ捜査を徹底するなど、犯罪組織の壊滅に向けた捜査を推進する。

業績目標 4 来日外国人犯罪対策の強化

業績目標達成のために行った主な施策

国際犯罪組織の実態解明及び来日外国人犯罪の取締り
外国人犯罪を助長する犯罪インフラへの対策の実施
各種協議等を通じた外国治安機関との連携強化



(自動車盗等犯罪の温床となるヤード)

評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：グローバル化事犯及び外国人犯罪を助長する犯罪インフラ事犯の
検挙状況（事例） 達成状況：

達成目標：国際犯罪組織の取締りを推進する。

【事例】ウガンダ人、ナイジェリア人らグループによる広域自動車盗等事件（10月、千葉・山形・警視庁・
神奈川・茨城）

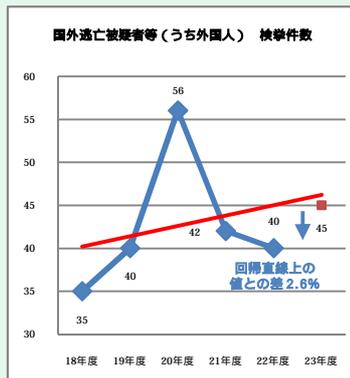
業績指標：犯罪インフラ事犯のうち地下銀行による不正送金、偽装結婚、偽
装認知、旅券・外国人登録証明書等偽造及び不法就労助長の検挙件数 達成状況：

達成目標：前年よりも増加させる。

業績指標：国外逃亡被疑者等（うち外国人）の検挙・処罰件数及 達成状況：

達成目標：増加傾向を維持する。

【事例】日本人を殺害し母国へ逃亡したブラジル人2名に対する国外犯処罰適用申請（警視庁）



業績目標 については、18～22 年度の数値に係る回帰直線（分布している数値の傾向を示す直線。上のグラフの赤線）上の値（検挙件数 46 件、処罰件数 4 件）との差が、23 年度の処罰件数は 42.9 パーセント下回っているものの、検挙件数は 2.6 パーセントと同等の水準を維持していることから、目標をおおむね達成した。

政策への反映の方向性

引き続き推進

国内関係機関との連携強化、情報交換
外国治安機関との捜査協力 等

業績目標 5 犯罪収益対策の推進

業績目標達成のために行った主な施策

- 疑わしい取引の届出制度についての特定事業者の理解と協力の確保
- 疑わしい取引に関する情報の分析の強化
- 国際的な枠組みへの積極的な参加と外国との連携の強化



(特定事業者対象の研修会)

評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：疑わしい取引の届出件数及び捜査機関等への情報提供件数

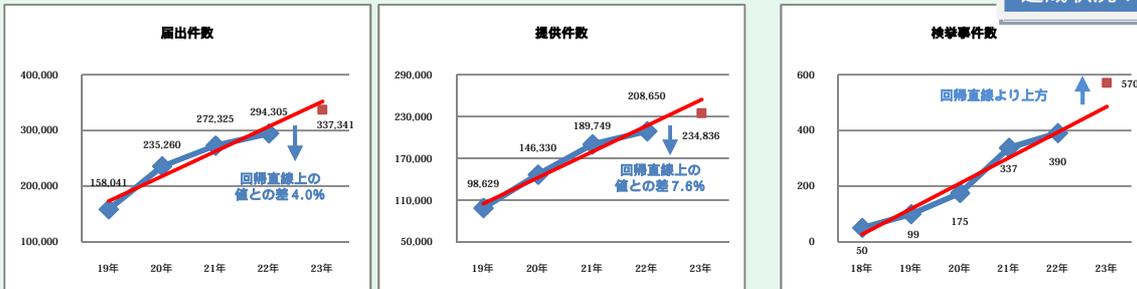
達成目標：増加傾向を維持する。

達成状況：

業績指標：疑わしい取引に関する情報を端緒として検挙した事件数

達成目標：増加傾向を維持する。

達成状況：



業績指標 については、19～22年の数値に係る回帰直線（分布している数値の傾向を示す直線。上のグラフの赤線）上の値（疑わしい取引の届出件数 351,449 件、捜査機関等への提供件数 254,209 件）との差が、23年の疑わしい取引の届出件数は 4.0 パーセント、捜査機関等への情報提供件数は 7.6 パーセントと同等の水準を維持していることから、目標を達成した。業績指標 については、23年の検挙事件数が回帰直線上の値（486 件）を上回っていることから、目標を達成した。

業績指標：組織的犯罪処罰法及び麻薬特例法の適用件数及び起訴前の没収保全命令による没収保全

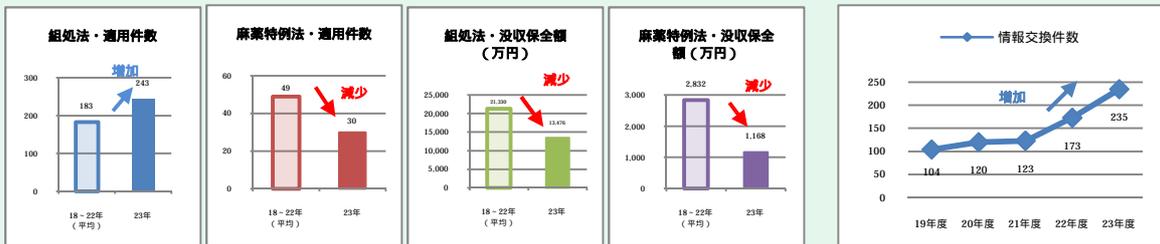
達成目標：過去 5 年間の平均値より増加させる。

達成状況：

業績指標：外国 F I U との情報交換件数

達成目標：件数を増加させる。

達成状況：



業績指標 については、過去 5 年間の平均と比べ、組織的犯罪処罰法の適用件数のみが増加したことから、目標の達成が十分とは言い難い。

政策への反映の方向性

引き続き推進

疑わしい取引に関する情報の分析能力の向上、外国 F I U との連携関係法令等の活用による検挙、犯罪収益剥奪の推進 等

基本目標 4 安全かつ快適な交通の確保

業績目標 1 歩行者・自転車利用者の安全確保

業績目標達成のために行った主な施策

高齢者に対する交通安全教育の充実
 通行ルールの周知徹底等自転車に係る交通安全教育の推進
 生活道路対策及び幹線道路対策の推進
 自転車利用者の交通違反に対する指導取締りの強化



(自転車教室)

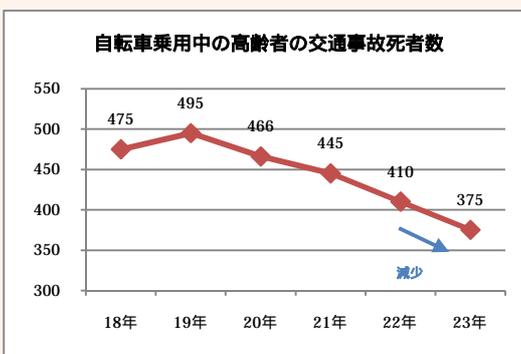
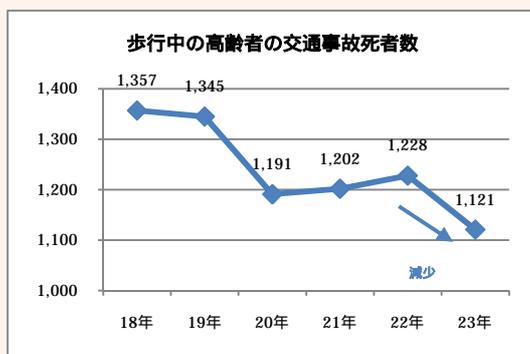
評価結果の概要等

評価結果：

業績指標 歩行中・自転車乗用中の高齢者の交通事故死者数

達成状況：

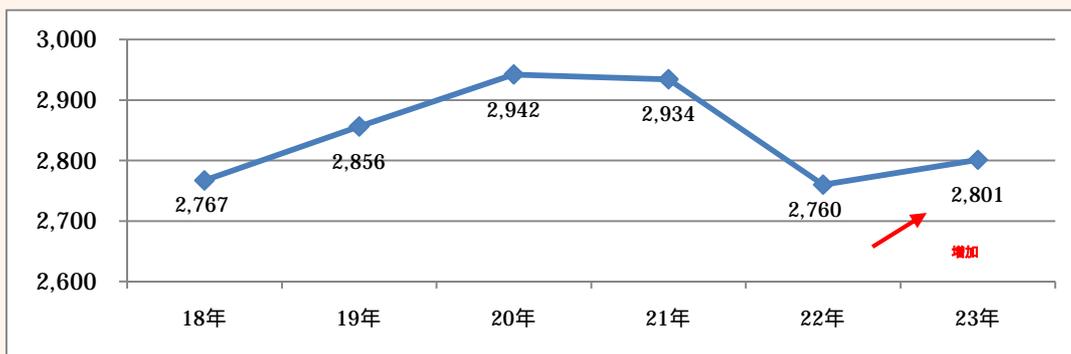
達成目標：交通事故死者数を減少させる。(前年より減少させる。)



業績指標 歩行者と自転車との交通事故件数

達成状況：

達成目標：交通事故件数を減少させる。(前年より減少させる。)



政策への反映の方向性

引き続き推進

自転車の通行環境の確立
 自転車利用者に対するルールの周知と安全教育の推進
 自転車に対する指導取締りの強化 等

基本目標 4 安全かつ快適な交通の確保

業績目標 2 高齢運転者による交通事故の防止

業績目標達成のために行った主な施策

- 講習予備検査（認知機能検査）の適切な実施
- 講習予備検査の結果に基づく効果的な高齢者講習の実施
- 高齢運転者等への支援の実施
- 高齢運転者標識の使用促進
- 信号灯器のLED化、道路標識の高輝度化等



（運転適性検査器材を用いた高齢者講習）

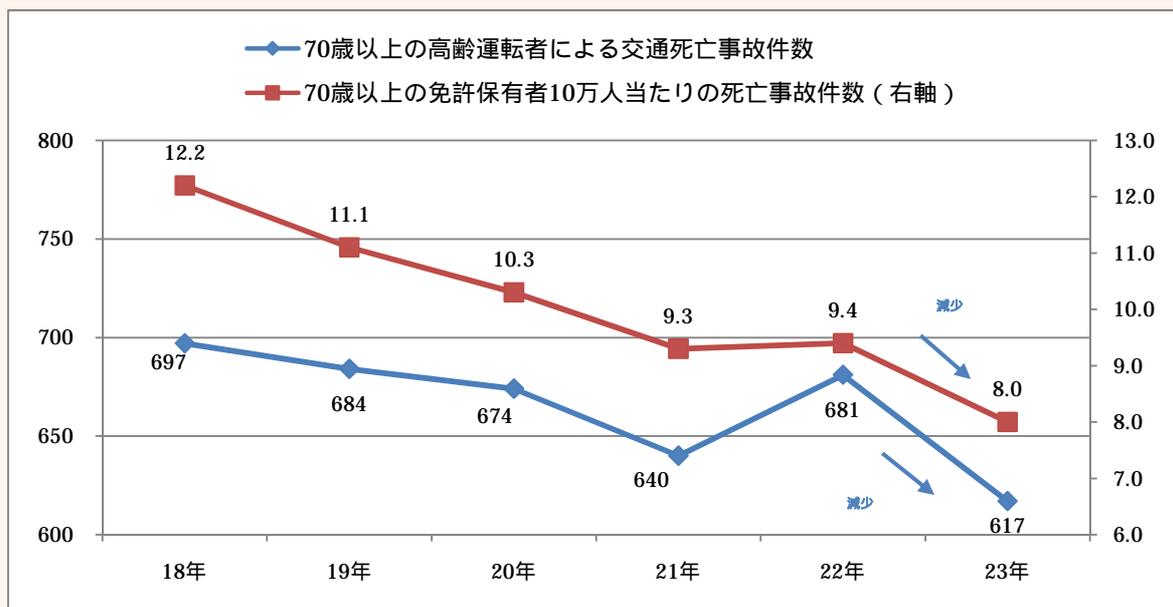
評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：70歳以上の高齢運転者による交通死亡事故件数
及び70歳以上の免許保有者10万人当たりの死亡事故件数

達成状況：

達成目標：70歳以上の高齢運転者による交通死亡事故件数を減少させる。（前年より減少させる。）



政策への反映の方向性

引き続き推進

講習予備検査と高齢者講習の適正かつ効果的な実施 等

基本目標 4 安全かつ快適な交通の確保

業績目標 3 飲酒運転対策を始めとする悪質・危険運転者対策の推進による交通秩序の確立

業績目標達成のために行った主な施策

- 悪質性・危険性・迷惑性の高い運転行為への対策の強化
- 交通部門、少年部門、地域部門等が連携した暴走族取締りの実施
- 国民の規範意識を確立するための広報啓発の推進
- 悪質・危険運転者に対する迅速・的確な行政処分の実施



(交通違反取締り)

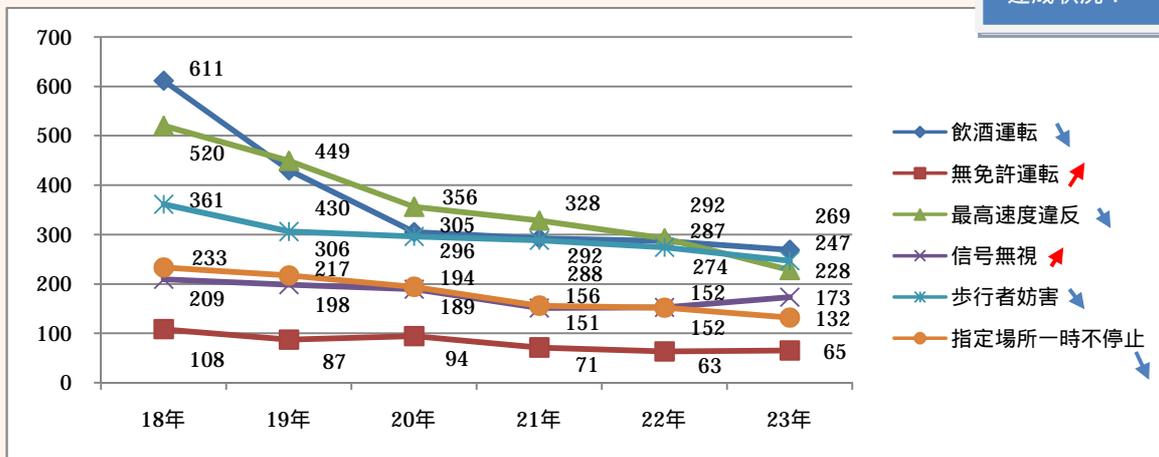
評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：悪質性、危険性の高い違反に起因する交通死亡事故件数

達成目標：交通死亡事故件数を減少させる。(前年より減少させる。)

達成状況：

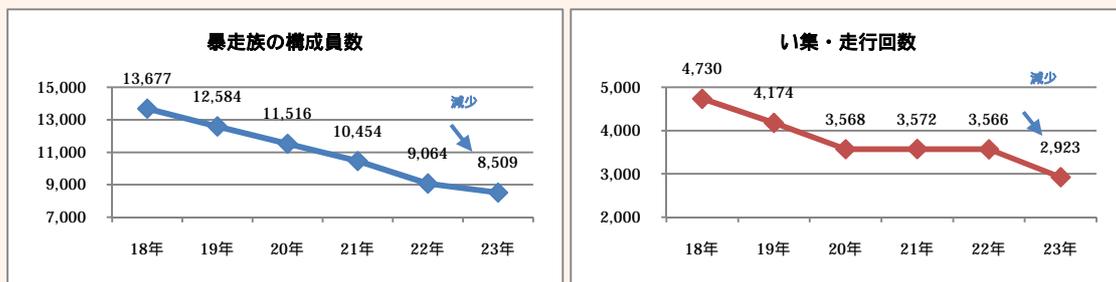


業績指標 については、前年に比べ、無免許運転及び信号無視に起因する交通死亡事故件数は増加したものの、飲酒運転、最高速度違反、歩行者妨害等及び指定場所一時不停止違反に起因する交通死亡事故件数は減少したことから、目標をおおむね達成した。

業績指標：暴走族の構成員数及びい集・走行回数

達成目標：暴走族の構成員数及びい集・走行回数を減少させる。(前年より減少させる。)

達成状況：



政策への反映の方向性

引き続き推進

悪質性・危険性の高い違反に重点を指向した取締りの推進
暴走族の根絶に向けた対策の推進

基本目標 4 安全かつ快適な交通の確保

業績目標 4 被害軽減対策の推進による交通事故死者数の減少

業績目標達成のために行った主な施策

取締りの実施及び積極的な広報啓発活動による全ての座席におけるシートベルトの着用徹底

保護者に対する効果的な広報啓発・指導によるチャイルドシートの正しい使用の徹底



(シートベルトコンビンサー体験)

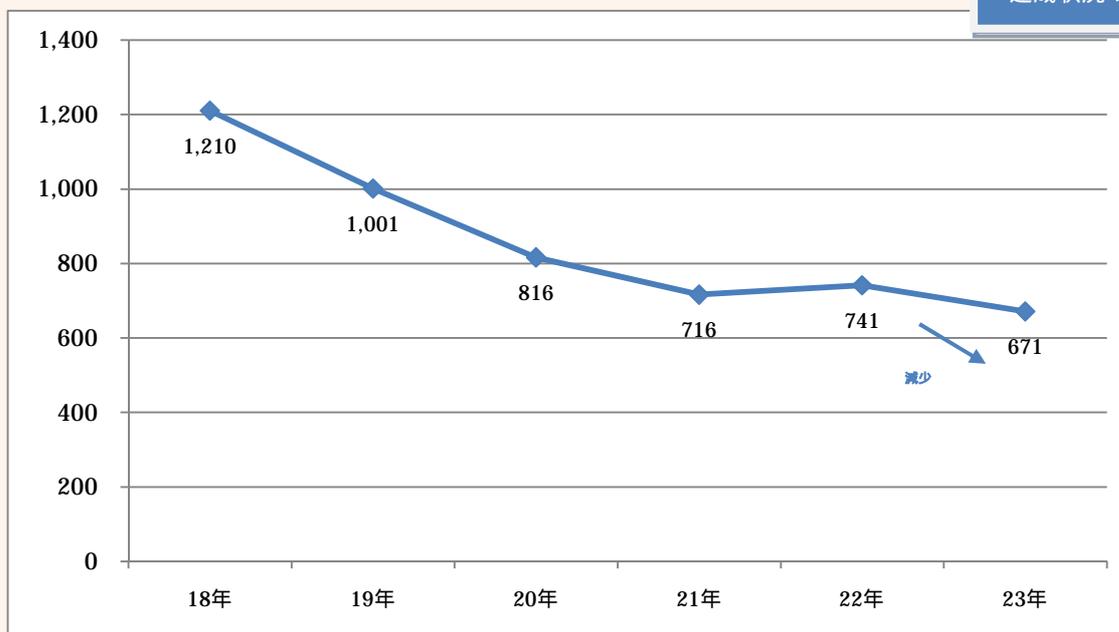
評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：シートベルト（チャイルドシートを含む）非着用死者数

達成目標：シートベルト非着用死者数を減少させる。（前年より減少させる。）

達成状況：



政策への反映の方向性

引き続き推進

非着用の場合の車外放出の危険性等を強調した広報啓発活動の展開
着用による被害軽減効果を実感できる交通安全教育等の推進
幼稚園や保育所における保護者への広報 等

業績目標 5 道路交通環境の整備

業績目標達成のために行った主な施策

特定交通安全施設等整備事業

- ・ 信号機の集中制御化
- ・ 信号機の多現示化
- ・ 信号機の右折感応化 等



評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：交通安全施設等の整備により抑止される死傷事故

達成目標：24年度末までに信号機の高度化等により約4万件/年抑止する。

(23年度目標値：約3.2万件/年)

達成状況：

業績指標：信号制御の高度化により抑止される二酸化炭素の排出量

達成目標：24年度末までに約46万t-CO2/年抑止する。(23年度目標値：約37万t-CO2/年)

達成状況：

業績指標：信号制御の高度化により短縮される交差点等の通過時間

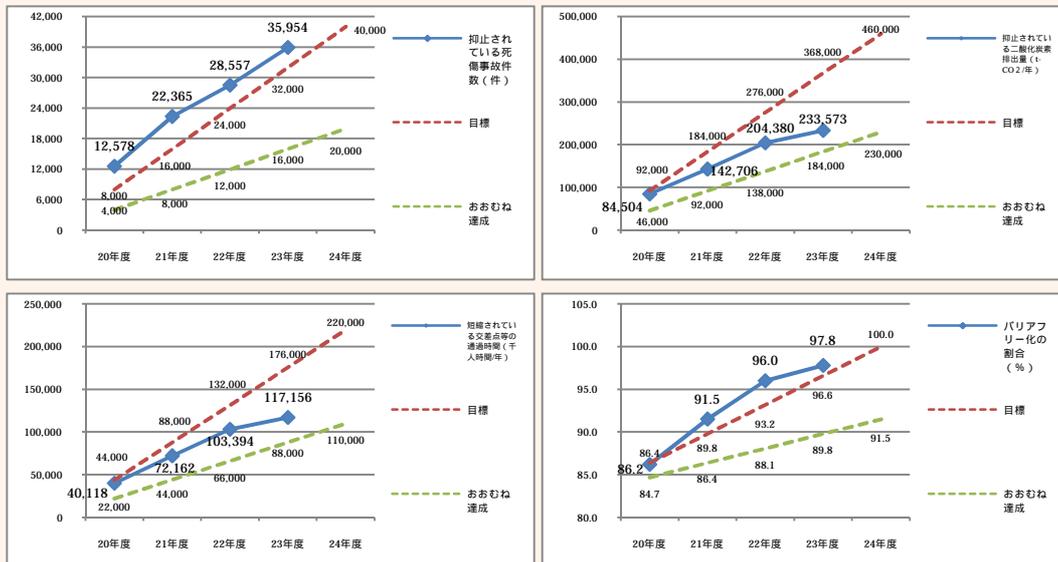
達成目標：24年度末までに約2.2億人時間/年短縮させる。(23年度目標値：約1.8億人時間/年)

達成状況：

業績指標：バリアフリー法の重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路における信号機等のバリアフリー化の割合

達成目標：24年度末までに100%にする。(23年度目標値：96.6%)

達成状況：



各年度の目標値は、5年間で最終目標に達成するように均等に配分した。目標値以上は「達成」、目標値の半分を超えた場合は「おおむね達成」とした。

政策への反映の方向性

引き続き推進

第2次社会資本整備重点計画に定められた成果目標の達成に向けた特定交通安全施設等整備事業の推進

業績目標 1 重大テロ事案等の予防鎮圧

業績目標達成のために行った主な施策

- 重要施設等の警戒警備
- 重大テロ事案等対処に係る各種訓練
- 大規模警衛・警護警備
- 関係機関との情報交換等の連携



(重大テロ事案対処に係る訓練)

評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：重大テロ事案等の発生状況

達成目標：重大テロ事案等を未然に防止する。

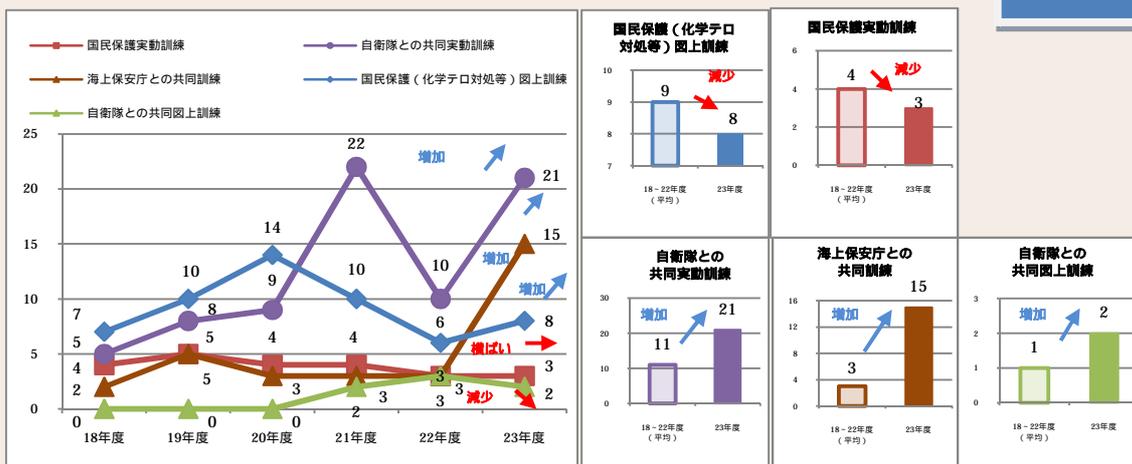
達成状況：

- 重大テロ事案等の予防鎮圧に向けた各種施策を推進した結果、重大テロ事案等の発生はなかった。

業績指標：重大テロ事案等の対処に係る各種訓練の実施及び関係機関との連携状況

達成目標：各種機関との共同訓練等、関係機関との連携を強化する。

達成状況：



業績目標 については、空港における爆弾テロの発生等、様々な事態を想定した訓練に参加したほか、過去5年間の平均及び前年度と比べてより多くの共同訓練を実施するなど、関係機関との連携強化を的確に推進したことから、目標を達成した。

業績指標 治安警備及び警衛・警護の実施状況

達成状況：

達成目標：国内外の情勢に応じた警備措置を行い、警備対象の安全を確保する。

治安警備 第4回日中韓サミットに伴う警備等を完遂し、治安責任を果たした。

警衛 天皇皇后両陛下の行幸啓等に伴う警衛警備を実施し、御身の安全確保と歓送迎者の雑踏事故防止を図った。

警護 国内外の要人の警護警備を実施し、身の安全を確保した。

政策への反映の方向性

引き続き推進

関係機関との連携強化及び各種訓練の徹底
 装備資機材や体制の充実強化 等

業績目標 2 大規模自然災害等の重大事案への的確な対処

業績目標達成のために行った主な施策

- 東日本大震災への対応
- 災害警備活動
- 大規模災害対策用資機材の整備
- 関係機関との情報交換等の連携
- 重大事案対処に係る各種訓練



(災害警備訓練)

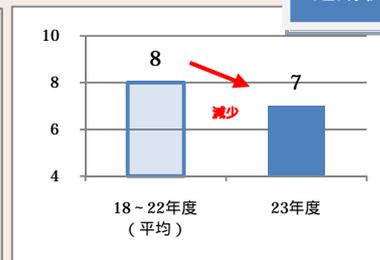
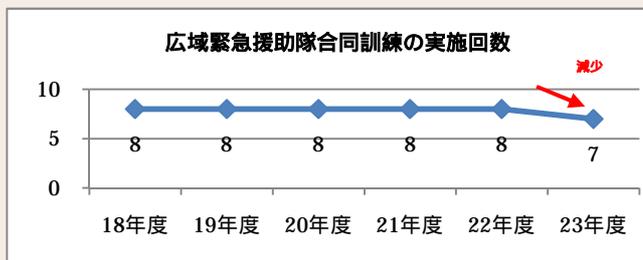
評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：大規模自然災害等の重大事案への対処に係る各種訓練の実施状況

達成目標：実戦を想定した各種訓練を行う。

達成状況：



業績指標 については、東日本大震災の影響により東北管区での訓練が中止となったことから、広域緊急援助隊合同訓練の実施回数が過去5年間の平均より減少したものの、他の管区等においては、津波災害を想定した被災者の救出救助訓練等の具体的かつ実戦的な訓練を実施していることから、目標を達成した。

業績指標：災害警備活動の実施状況

達成目標：重大事案発生に際し、被害の最小化に向けた災害警備活動を推進する。

達成状況：

- 東日本大震災に伴い、各種災害警備活動を継続的に実施
- 台風第12号の発生に際して、広域緊急援助隊等を被災地へ派遣し、被害の最小化を図る措置を推進

業績指標：情報交換等関係機関との連携状況

達成目標：事案発生時の情報交換を始めとした関係機関との連携を強化する。

達成状況：

- 東日本大震災の発生に伴い政府に設置された各種会議等を通じ、関係機関との間で緊密な連携体制を確保するとともに、連携して各種災害警備活動を実施
- 政府における災害対策関係会議等に参加し、連携して各種災害対策を検討
- 平成23年7月新潟・福島豪雨、9月の台風第12号及び第15号等の発生に際し、関係省庁連絡会議等の場を通じた緊密な連携体制を確保

政策への反映の方向性

引き続き推進

関係機関との連携強化及び各種訓練の徹底
 装備資機材や体制の強化
 各種警備措置や事案対処に当たる部隊の対処能力の更なる向上 等

業績目標 3 警備犯罪取締りの的確な実施

業績目標達成のために行った主な施策

- 主要警備対象勢力による違法事案の取締り
- 不法滞在者等の取締り
- 入管法第 65 条(不法滞在被疑者の入国警備官への引渡し制度)の活用



(街頭宣伝車の取締り)

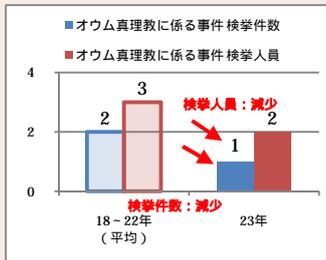
評価結果の概要等

評価結果：

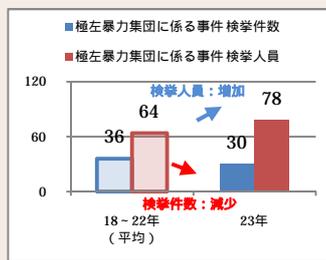
業績指標：主要警備対象勢力に係る犯罪の検挙状況及び対処状況

達成目標：主要警備対象勢力による違法事案の取締りを推進する。

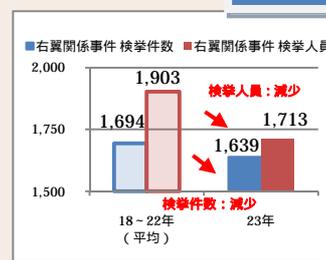
達成状況：



検挙件数・人員は減少したものの、拠点施設の搜索等を通じて、勢力の活動実態解明を進めるなどしたことから、目標をおおむね達成した。



検挙件数は減少したものの、検挙人員が増加し、取締り等を通じて勢力の実態解明を進めるなどしたことから、目標をおおむね達成した。



検挙件数・人員が減少したものの、右翼による「テロ、ゲリラ」事件を未然に防止するなどしたことから、目標をおおむね達成した。

- オウム真理教信者らによる団体規制法違反(検査妨害)及び公務執行妨害事件(23年7月検挙、警視庁)
- 極左活動家らによる東京高等裁判所における不退去事件(23年5月検挙、警視庁)
- 右翼団体幹部らによる失業等給付金等不正受給詐欺事件(22年8月から23年10月までに検挙、大阪)

業績指標：不法滞在者等の検挙状況(検挙件数及び検挙事例)及び入国管理局との合同摘発を始めとする関係機関との連携状況

達成目標：入国管理局との合同摘発を始めとした関係機関との連携を強化し、不法滞在者等の取締りを推進する。

達成状況：



業績指標 については、過去5年間の平均及び前年と比べ、入管法違反を始めとする不法滞在者等の検挙件数・人員が減少しているものの、過去5年間で我が国における不法残留者数が大幅に減少していることから、目標をおおむね達成した。

- 警察及び入国管理局との合同摘発により、風俗店でホステスとして稼働していたインドネシア人 14 人を入管法違反(無許可活動)で摘発するとともに、同インドネシア人らを働かせたとして、同年8月までに同店の経営者ら日本人 3 人を入管法違反(不法就労助長)で逮捕した(23年7月、岡山)。

政策への反映の方向性

引き続き推進 (主要警備対象勢力に対する的確な対処 不法滞在者等の更なる取締りの強化 等)

業績目標 4 国内外における情報収集・分析機能の強化による
対日有害活動・国際テロ等の未然防止及びこれらの事案への的確な対処

業績目標達成のために行った主な施策

官邸、関係機関等との連携
外国治安情報機関等との多種多様な情報交換
情報収集・分析機能の強化



(爆発物原料販売事業者に対する協力要請)

評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：国内外の関係機関との情報交換等の連携状況（事例）

達成目標：国内外の機関との情報交換を始めとした関係機関との連携を強化する。

- ・ 外事情報部長及び実務担当者による情報交換等を積極的に実施
- ・ 「国際テロ事件捜査セミナー」等、国際的な取組に積極的に参加
- ・ 税関等関係機関と緊密に連携した結果、23年度中に、対北朝鮮措置に係る違法行為を8件、大量破壊兵器関連物資等に関する事件を2件検挙

達成状況：

業績指標：国際テロの発生状況（事例）

達成目標：国際テロを未然に防止する。

- ・ 国内外の関係機関との連携を強化し、テロ関連情報の収集・分析を強化
- ・ 入国管理局、税関等の関係省庁と連携し、国際海空港における水際対策を実施
- ・ 爆発物原料販売事業者及び旅館業者等に対し、不審情報の即報等の協力を要請

達成状況：

業績指標：北朝鮮による拉致容疑事案、大量破壊兵器関連物資等の不正輸出事案等対日有害活動に係る事案への取組状況（事例）

達成目標：取組を推進する。

- ・ 化学機械器具製造・販売会社社長らによるマグネットポンプ不正輸出事件（9月・埼玉・茨城）及び合成樹脂製造会社元部長による炭素繊維成型品不正輸出事件を検挙（12月・警視庁）
- ・ 北朝鮮による拉致容疑事案について捜査を推進



(不正に輸出されたマグネットポンプ)

政策への反映の方向性

引き続き推進

情報収集・分析体制の強化
国内外の関係機関との情報交換 等

基本目標 6 犯罪被害者等の支援の充実

業績目標 1 犯罪被害者等に対する経済的支援・精神的支援等総合的な支援の充実

業績目標達成のために行った主な施策

犯罪被害者支援要綱の制定及び被害者支援推進計画の推進
被害者支援の気運の醸成
民間被害者支援団体との連携の推進



(被害者支援用車両内の様子(被害者は模擬))

評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：犯罪被害給付制度の運用状況

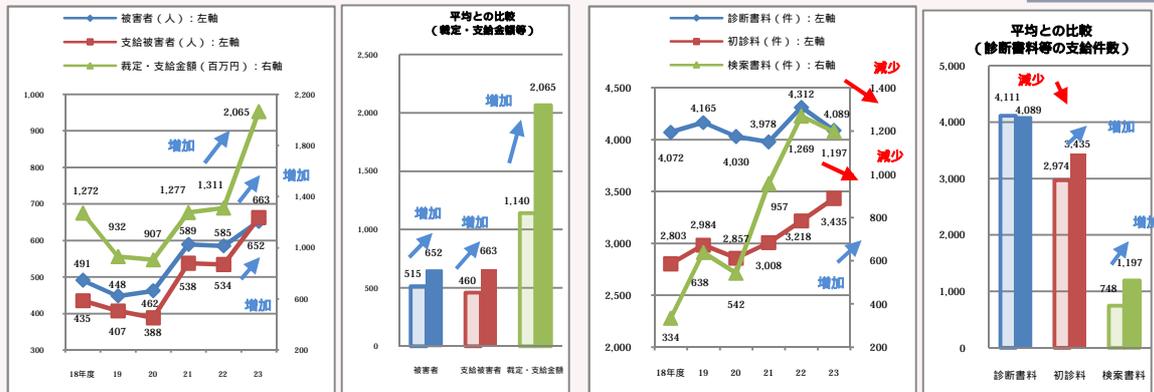
達成目標：犯罪被害給付制度を適切に運用する。

達成状況：

業績指標：身体犯被害者に対する診断書料、初診料等の支給件数

達成目標：性犯罪被害者を始めとする身体犯被害者に対する初診料等を適切に支給する。

達成状況：



業績指標については、過去5年間の平均及び前年度と比べ、裁定を受けた被害者数等が増加していることなどに鑑みると、犯罪被害給付制度は健全に機能していると認められることから、目標を達成した。業績指標については、過去5年間の平均及び前年度と比べ、診断書料の支給件数が減少し、前年度と比べ、検案書料の支給件数が減少しているものの、過去5年間の平均及び前年度と比べ、初診料の支給件数が増加し、過去5年間の平均と比べ、検案書料の支給件数が増加していることから、目標をおおむね達成した。

業績指標：犯罪被害者等に対するカウンセリング体制の整備状況

達成目標：最近の増加傾向を維持する。

達成状況：

業績指標：関係機関・団体等との連携状況

達成目標：最近の増加傾向を維持する。

達成状況：



業績指標については、18～22年度の数値に係る回帰直線(分布している数値の傾向を示す直線。上のグラフの赤線)上の値(臨床心理資格を有する相談要員88人、その他の相談要員202人)との差が、23年度のその他の相談要員の数では33.0パーセントであるものの、臨床心理資格を有する相談要員の数では2.5パーセントと同等の水準を維持していることから、目標をおおむね達成した。業績指標については、犯罪被害者等早期援助団体の指定数は、回帰直線上の値(45団体)との差が11.7パーセントであるものの、民間被害者支援団体における相談受件数及び警察からの情報提供件数は、回帰直線上の値(相談受件数23,318件、情報提供件数645件)を上回っていることから、目標をおおむね達成した。

政策への反映の方向性

引き続き推進

犯罪被害者等に対するカウンセリング体制の更なる充実 等

基本目標7 安心できるIT社会の実現

業績目標1 情報セキュリティの確保とネットワーク利用犯罪等サイバー犯罪の抑止

業績目標達成のために行った主な施策

インターネット上の違法・有害情報対策の推進
不正アクセス禁止法の改正
重要インフラ事業者、産業界等との連携強化
情報セキュリティ対策に関する広報啓発
サイバー犯罪・サイバーテロ対策等に係る国際連携の強化
サイバー犯罪・サイバーテロ対策等に係る体制の強化



(電磁的記録の解析の様子)

評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：不正アクセス行為の検挙件数

達成目標：過去5年間の平均より増加させる。

業績指標：サイバーテロの発生件数

達成目標：サイバーテロの発生及び被害の拡大を防止する。

- 23年度のサイバーテロの発生件数は0件

業績指標：技術支援件数

達成目標：最近の増加傾向を維持する。

業績指標：ネットワーク利用犯罪の検挙件数

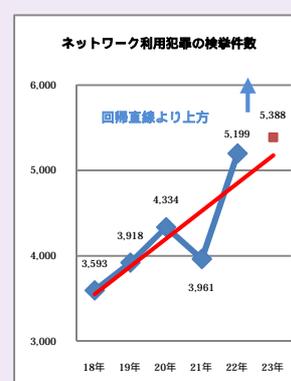
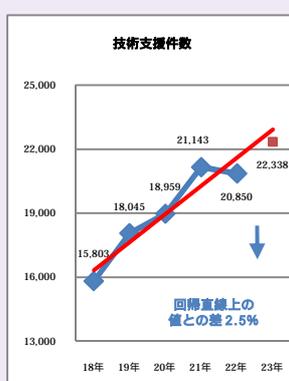
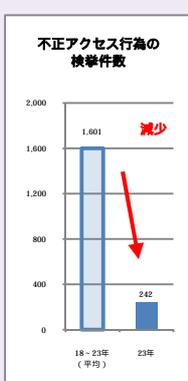
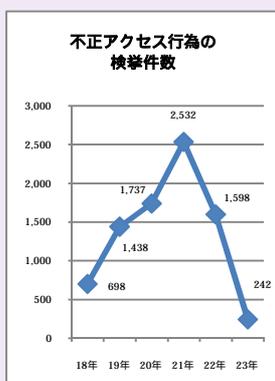
達成目標：最近の増加傾向を維持する。

達成状況：

達成状況：

達成状況：

達成状況：



業績指標 については、23年の技術支援件数が、18～22年の数値に係る回帰直線（分布している数値の傾向を示す直線。上のグラフの赤線）上の値（22,917件）との差が2.5パーセントと同等の水準を維持していることから、目標を達成した。
業績指標 については、23年のネットワーク利用犯罪の検挙件数が、18～22年の数値に係る回帰直線上の値（5,178件）を上回っていることから、目標を達成した。

政策への反映の方向性

引き続き推進

改正不正アクセス禁止法に基づくフィッシング行為等の取締りの積極的な推進
「全国協働捜査方式」を活用した違法・有害情報の取締りの推進
最新の情報通信技術に精通した捜査官の育成
サイバー犯罪・サイバーテロ対策等に係る体制の強化
サイバー攻撃事案の実態解明及び官民連携の強化 等